

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

2020-21年度 RI会長／ホルガー・クナーケ
 RI.D2590ガバナー／吉田 隆男
 横浜旭RC会長／田川 富男

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
 TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
 http://yokohamaasahirc.cho88.com
 Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
 (榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

鶴ヶ峰中学職業講話

旭ふれあい区民まつり

2020年8月5日 第2423回例会 VOL. 52 No. 3

■司会 SAA 宋 謹衣

■開会点鐘 会長 田川 富男

■出席報告

会員数	25名	本日の出席数	20名
本日の出席率	86.96%	修正出席率	87.5%

■本日の欠席者

青木、岡田、福村

■他クラブ出席者

田川（地区）、宋（横浜本牧RC）

■ゲスト

林 悦さん（米山奨学生）

赤羽 紗耶さん

（2020-21年度グローバル奨学生）

■8月誕生記念祝



内田 敏会員 8.9

二宮麻理子会員 8.20

■会長報告

嫌悪なコロナ年度が1ヵ月すぎた現状。ご存じのように残念ながら現在も新型コロナウイルスの脅威が続いています。感染数は以前以上に増加しています。

その中で7月28日の地区開催の「ためになる魅力あるロータリーセミナー」に参加して参りました。この時期ですからソーシャルディスタンスに注意（ソシアの入場可能数160名の半分83名にて）していました。

セミナーの内容としては、本来3月19日に予定していたクラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）が中止となり吉田ガバナーエレクトによるガバナー方針の発表も出来ませんでした。

今回のセミナーにて全クラブの会長が出席した事により、遅れての発表となりました。

ガバナー方針の内容は9月23日の公式訪問時にあらためて皆さんに話されるとのことです。その中でも吉田ガバナーとして今期は会員の健康が第一との考えとのことでした。

「魅力あるロータリーセミナー」は地区研修委員長、高良明さんリードの元、増強・クラブ奉仕・公共イメージ・ロータリーの友・研修の各テーマについてパネルディスカッション方式で進められました。

財団グローバル奨学生赤羽さんの紹介を佐藤真吾会員にお願いしたいと思っております。

定番の言い方とは思いますが、留学に当たり法律の専門的な勉強の他として、この機会にて日本人には無い考え方を発見することが出来るといいですね。それでは佐藤さんお願い致します。

公共イメージフォーラムについては、時短の中での発表ですみませんが、五十嵐委員長よろしく願いいたします。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜南ロータリークラブ

日時 8月15日(土)休会

○横浜港南台ロータリークラブ

日時 8月7日(金)通常例会 点鐘 12:30

場所 せんざん港南台店

日時 8月14日(金)休会

日時 8月21日(金)通常例会 点鐘 12:30

場所 せんざん港南台店

日時 8月28日(金)夜間例会

場所 未定

○横浜南央ロータリークラブ

日時 8月11日(火)休会

日時 8月18日(火)

吉田隆男ガバナー公式訪問

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 8月11日(火)休会

日時 8月18日(火)休会

■災害対策委員会 佐藤 真吾

【直前会長から活動報告書原稿提出のお願い】

昨年度の活動報告書を作成するにあたり、各委員長は8月末日までに活動報告書原稿の提出をお願いします。

【災害対策委員会報告】

本日、内田敏会員から災害支援基金へ50,000円ご寄付をいただきました。

【卓話者紹介】

赤羽紗耶さん、2020-21年度ロータリー財団グローバル奨学生

1993年生まれ・横浜市旭区出身・慶應義塾大学法学部卒

留学先/サセックス大学(イングランド)

専攻/紛争解決学(6つの重点分野/平和構築と紛争予防についての研究)

留学期間/2020年9月から1年間

施国側提唱クラブ/Rotary Club of Lewes(1145地区)

■米山奨学生 林悦さん近況報告



皆様、おはようございます。期末試験はオンラインでの試験となり少し不安もありますが、力を尽くしたので結果を楽しみにしています。

また創作コンクールと評論文コンクールにも投稿し、いろいろなことにチャレンジしたいと思っています。

もう8月に入り天気は日に日に蒸し暑くなっています。皆さん熱中症にお気をつけてお過ごし下さい。これからも頑張りますので、宜しくお願いします。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

田川 富男/①梅雨が明け本格的な夏になりました。熱中症に注意してください。皆さん暑さにも、太陽のコロナに負けず頑張ってください。

②赤羽紗耶さん、林悦さん、ようこそ。

二宮麻理子/①五十嵐さん、フォーラムよろしくお願い致します。②赤羽さん、ようこそ。

内田 敏/①五十嵐さん、本日のフォーラム宜しくお願いします。②誕生祝をありがとうございます。

吉原 則光/梅雨明けと同時に今度は真夏日、暑さに負けずに頑張りましょう。

“例会は 横並びして 小学生”

宋 謹衣/林さん、赤羽さん、ようこそ。いきなりの猛暑で熱中症にならないように、

しっかり水分補給をお願いします。

市川 慎二／①五十嵐さん、公共イメージフォーラム宜しくお願い致します。②林さん、赤羽さん、ようこそ。

佐藤 真吾／① 2020-21 年度ロータリー財団グローバル奨学生、赤羽沙耶さんようこそ。卓話頑張って！②米山奨学生、林さんようこそ。

五十嵐 正／内田さん、災害支援基金に多額のご寄付を頂きありがとうございます。有意義に利用させていただきます。

佐藤 利明／暑くなりました。熱中症とコロナにご注意して下さい。公共イメージフォーラム、五十嵐様、よろしく。

兵藤 哲夫／関口さん、飲み会会費出していただけ、大好きです。もらう、いただく、ただ、寄付なし、大好きな言葉です！

新川 尚／ロータリー財団奨学生赤羽さん、米山奨学生林さん、ようこそ！

安藤 公一／①林さん、赤羽さん、ようこそいらっしやいました。②五十嵐さん、本日のフォーラム宜しくお願い致します。③新型コロナと熱中症の両方に気を付けましょう。

目黒 恵一／妻の誕生日にお花有難うございました。

■グローバル奨学生赤羽沙耶さん紹介



○留学の目的について

- ・留学先
University of Sussex (サセックス大学)
Conflict, Security and Development
(紛争解決学)
- ・開発学に強く、1年で修士号を得られるイギリスの大学院を志望

留学先

University of Sussex (サセックス大学)
イギリス、ブライトン



- ・サセックス大学はQSの開発学における大学ランキングで1位に位置しており、在学中にフィールドトリップの機会も提供されているため、進学を決定
- ・国際紛争や内紛は、貧困、教育制度や経済の破綻、インフラの破壊、難民の発生など、様々な途上国の問題を引き起こす要因になっていると考え、紛争解決学を専攻

○研究内容

1) DDR

(Disarmament, Demobilization and Reintegration)

日本語訳は、武装解除・動員解除・社会復帰
大きな目的は、加害者を罰せず支援することで、新たな紛争を予防すること

①武装解除 (武器を回収する)

目的

- ・戦闘員に武器を手放させ、一市民とする
- ・市民にとっての脅威を取り除く
- ・回収した武器を解体、破壊することで紛争の終結を象徴する

課題

- ・武器数の把握が困難
- ・破壊するまで保管の必要がある
- ・回収と引き換えとなる社会復帰支援や一時金に関する交渉の失敗、悪用の可能性

②動員解除…戦闘員を除隊する

軍隊や軍事組織を解体する

目的

- ・戦闘員を所属していた部隊や部隊長の指揮



下から隔離し、これまでの関係を断ち切る
課題

- ・上下関係が継続することがある
- ・再動員を防ぐため、部隊長には特別な支援が必要となる場合がある

③社会復帰（職業訓練や就労支援を行う）

目的

- ・元戦闘員の市民としての地位を確立させ、社会復帰を支援する

課題

- ・開始までに時間がかかると、反感や失望を招く
- ・雇用口の不足
- ・加害者を罰せず、むしろ優先的な支援を提供することで、紛争被害者に不公平感を生む

2) CVR (Community Violence Reduction)

目的はDDRと同じ

“DDRの限界”の認識が広まる中、提唱されるようになった

DDRの一部として実施されることも、単体で実施されることもある

- ・DDRとの違い
- ・紛争が起こる前に予防する
- ・コミュニティにダイレクトに働きかける
- ・元戦闘員への支援を行うだけでなく、若者の軍事組織加入を防ぐ
- ・実施例

JCCP（日本紛争予防センター）による

①ソーシャルワーカー・リーダーの育成

- ・若者の話を聞き、軍事組織への勧誘を予防



- ・民族間やコミュニティ間で発生する争いを仲裁
- ・民族融和活動の実施
- ・生活困窮者の相談窓口となる

②職業訓練・就職斡旋

- ・自立を支援し軍事組織加入を防ぐ

3) 重点研究内容

- ・コミュニティを対象とした支援
- 加害者、被害者の区別なく包括的支援を行う
- 加害者のみに支援が集中することを防ぐ
- コミュニティが加害者を受け入れやすくする
- ・民間企業との連携
- ・ノウハウを持つ海外民間企業と連携し、国家の迅速な回復を目指す
- ・雇用の増加、経済の発展に繋げる

■公共イメージフォーラム 五十嵐 正

今季公共イメージ委員会にご指名を頂きました五十嵐です。

委員は、全てパスト会長の関口さん、倉本さんと直前会長の佐藤真吾さんで構成されて

戦略計画立案プロセスの概要

第1段階： 現状分析 クラブの現状は どうか？	第2段階： ビジョンの作成 どのようなクラブになり たいのか？	第3段階： 計画の作成 どのようにビジョンを 実現できるか？	第4段階： 進捗の確認 目標への進み具合は どうか？
<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき戦略的課題を特定する ・クラブの長所と短所を把握する ・会員の満足度とニーズを調べる ・地域社会にある機会と課題を特定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブが実現したい特徴を5~7つ挙げる ・ビジョン声明をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的優先事項を定める ・年次目標を立てる ・活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次目標に向けた進捗を確認する ・目標を達成できなかった場合、その理由を特定する ・行動計画を見直し、調整する

おります。

今期は事前に委員会内で議論が出来ず、活動計画書に今期の活動内容を記載しましたが、今後の状況によってはその活動に変更あることをご了承願います。

まず公共イメージ委員会の目標は、ロータリーの推進、ロータリーに対する人々の認識を高めるとあります。また、ロータリーの戦略計画を支えるとあります。

ただ残念なことに、我がクラブではこれまで明確に戦略計画を議論してこなかった。つまり活動の柱になるクラブの戦略目標がないところに、どのような情報伝達が有効であるか検証のしようがない事になります。

戦略計画の第2段階に、どんなクラブになりたいのか。とありますが、自分達自身で横浜旭クラブをこれからどんなクラブに行きたいのか、会員に共通のコンセンサスがあればより具体的に各委員会が目標に向かって活動計画を練り、広報もその下支えとしての活動のありようが見えてくると思います。

また公共イメージの具体的に目指すところには、会員増強、パートナーシップの拡大、寄付推進、そして奉仕活動への参加向上が挙げられております。

これまで、ロータリーの情報提供の手段としては、クラブ HP であり、クラブの活動内容を新聞等の各種メディアで紹介して頂いたり。さらには、ロータリーの友を地域企業に置いていただき、折々に人々に読んでいただく、昨年の委員会で作った会員名刺にロータリーの事、クラブ活動の紹介等、色々とその都度、知恵を出しつつ行って参りました。

友の7月号の記事で、ジャパネット高田の高田明さんの言葉に、「自分が伝えた」と「相手に伝わった」は全く別物ということが紹介されておりました。

メディアに何回露出するかもさることながら、自分達が共感し、納得して自信をもった内容を、自分達の言葉で提供する。メディアの露出回数は資本が必要なことから、地区へお願いするとして。(余談ですが、私は常々ユニセフのようなTV広告をロータリーでもやって欲しいと思っています。)

私達が伝えたいロータリーでの体験や行動を、自らの言葉で伝えること。単に、ロータリーのHPから引用して、体裁を整えた内容ではなく、自ら経験した事を伝える。

例えば、私達は東日本大震災以来、自分達が出来る支援を色々と経験し、災害から支援



そして備えの在り方、ロータリーが出来る、地域に寄り添う、有効な支援とは何か。

そんな問い掛けを支援とともに、ここ十年育んで参りました。そんな中でクラブ独自の「てんでんこ」を作り折々に広報しております。なぜこの「てんでんこ」が生まれたのか、そこにはストーリーがあります。物語を語ることが出来ます。

また、クラブ独自の災害支援基金もあります。そうした内容こそ、相手により共感され、そして伝わったことに繋がるのではないかと思います。そんな事を軸に、公共イメージアップの方法を考えて参りたいと思います。

また、今の状況で執行部にお願いすることは酷かも知れませんが、そろそろ5年10年を踏まえた、クラブ戦略計画立案に着手していただければと思います。

■会報番外記

『運動の勧め』

安藤 公一

新型コロナ感染拡大防止のため、当社の運営する女性のための健康体操教室カーブス鶴ヶ峰も4月11日より5月末日まで営業を停止し、6月1日より万全の感染防止策の下営業再開しました。

緊急事態宣言発令中の自粛生活の間もスタッフは、メンバーの皆さんに毎日のように電話を入れ、カーブスで身に着いた運動習慣を途切れることの無いよう、電話での運動指導を行って参りましたが、発令以前より重症化リスクの高い80代の高齢者には、3月の時点

でご来店頂かないようお願いしていました。

いざ再開となった際に驚きの事実が判明。3月より3か月間お休み頂いていた高齢のメンバーさん数名が、お休みしていたことで筋力が低下し歩行困難となってしまう、ご来店不可能となったことです。

これが一部のお医者さんが懸念されていた「健康二次被害」なのだと実感しました。このメンバーさん達が今後どうなっていくのか心配です。

動かないと動けなくなり、寝たきりの要介護対象となってしまうことを実感せざるを得ない状況となりました。同時に認知症の進行も進んでしまいます。筋肉は唯一、齢を重ねても定期的な運動習慣の下、機能向上が見込まれる臓器です。

兎に角、ストレッチだけでもよいので、動かすことです。

ストレッチで可動域を広げることで、動かす範囲が広がり運動効果も上がります。筋肉に負荷をかける運動、所謂筋トレは1日おきが効果的です。

ジョギング、ウォーキング、水泳等の有酸素運動は、毎日続けても大丈夫。ウォーキングの目安は1週間通算で5万6千歩(8,000歩×7日間)といわれています。

感染防止と熱中症対策を万全にしてできる限り身体を動かしましょう。

定期的運動習慣は、身体のみならず、心の健康にも役立ちます。また運動による体温上昇は免疫カアップにも効果があります。

なかなか運動の時間が取れないお忙しい方は、「キビキビ」と颯爽と動くことを意識するだけでもだいぶ違うと思います。一度試してみてください。

■次週の卓話

9/9(水) クラブ協議会

下山清隆 20-21年度第5Gガバナー補佐
をお迎えして

週報担当 柳沢 哲也